



ロータリーは機会の扉を開く

2020~2021 RI.2760地区

瀬戸ロータリークラブ会報

2021年3月17日発行 第2786号

本日のプログラム

2021年3月17日(水)

通算第2963回例会

本年度第30回

場所:瀬戸商工会議所

例会次第

- ・開会点鐘
- ・「それでこそロータリー」
- ・出席状況
- ・会長挨拶
- ・行事
- ・誕生日・結婚記念日祝福
- ・報告事項
- ・委員会報告/その他の報告
- ・卓話

澤田 武憲君

「地区大会報告」



前回例会 記録

2021年3月10日 第2962回例会

・出席報告 55名中46名

出席率 83.63%

・本人誕生日 小林稔君 青山稔君

加藤克己君[2012入会]

伊藤英彦君 大竹一義君

松村晋也君 加藤光哉君

勝谷哲次君 山本英雄君

井上伸也君 加藤克弘君

・ご夫人誕生日

與儀武蔵君ご夫人奈緒様

加藤五津美君ご夫人栄子様

小池芳樹君ご夫人恵様

加藤太伸君ご夫人宏美様

山本英雄君ご夫人彬古様

加藤眞言君ご夫人恵美子様

寺田悟君ご夫人典枝様

小林稔君ご夫人眞由美様

加藤令吉君ご夫人順恵様

青山稔君ご夫人利恵様

井上伸也君ご夫人美穂様

刑部祐介君ご夫人由美子様

加藤捷君ご夫人美智子様

加藤恵子君ご主人宜之様

田中靖達君ご夫人沙代子様

・結婚記念日 近藤三博君[祝20周年]

勝谷哲次君 加藤恵子君

岡村肇君 加藤眞言君

大澤英雄君 伊藤英彦君

青山稔君 大原道夫君

小林稔君

・行事 ・米山奨学生 イ・チェリムさん
からのお別れのご挨拶

・新会員 加藤克己君からのご挨拶

・卓話

バスト会長 勝谷 哲次君

演題…「無題」

バスト会長 井上 博君

演題…「ロータリーのことなど」

第2962回例会挨拶 会長 松村晋也君

皆さん、こんにちは。お久しぶりでございます。12月の第1週にこの通常例会を行った後の3か月間はWEB例会でした。ロータリーの例会というのはこのように顔を見ながらの対面で行うのが本来の姿であろうと思うわけであります。今日は久しぶりですので行事を立て込んでおります。まず本日のゲストは米山奨学生イ・チェリムさんでございます。チェリムさんはこの3月で卒業されて韓国に帰られるということです。後程最後の挨拶と作品を披露していただけるということです。チェリムさんは本来なら1年間来る予定でしたが、半年後にしか来られずしかも残り半分がWEBでしたので数回しかお会いしていません。是非、コロナが終わった段階で日本に遊びに来るなり勉強に来るなり、その折には是非この瀬戸ロータリーにも来ていただいて旧交を温めていただきたいと思います。今後のチェリムさんのご活躍と幸せを祈っております。

そして2月24日に加藤睦彦さんのお別れの会がございました。心よりご冥福をお祈りしたいと思います。それから2月27日に青少年事業の継続事業である第2回ロータリーユースコンピューターグラフィックスアワードをリサーチセンターで行ってまいりました。私と担当委員長の鈴木光彦君が出席して完全なるリモート形式での会議でした。受賞作品を何らかの形で皆さんに見ていただきたいと思っております。そして今朝の新聞に藤井聡太君の代わりに加藤唐三郎君が聖火ランナーをするということで、ロータリーとしても大変嬉しい限りでございます。是非お酒を控えて体を鍛えていただきたいと思います。

さて今日は3月10日です。皆さんご存知の通り明日3月11日は東日本大震災が起きて10年でございます。今日はそのお話をさせていただきますと思います。ついこの前も福島県で震度6強の地震がありました。震度6は結構大きな地震であります。ただこれが10年前の余震と聞きび

つくりしました。世界では百年経ってからの余震が起きた事もあるそうです。要は最初に起きた地震のねじれやひずみの解消する時の動きが余震の地震だそうです。この東日本大震災というのは2011年3月11日午後2時46分18秒、宮城県牡鹿半島沖合130キロでマグニチュード9というのは当時としては最大の地震が起きたのです。観測史上最大と言われております。それに伴って間もなく津波が押し寄せて来たわけですね。この東日本大震災は時間が午後でしたので、ライブ映像で津波が押し寄せる悲惨な光景を目の当たりにして未だに脳裏に焼き付いています。明治以降の三大震災がありまして、明治三陸大地震、大正時代の関東大震災、それから平成の東日本大震災です。マスコミ等は10年ということで色々特集を組んで毎日やっております。ロータリーもこの10年、ロータリーの友に必ずこの関連の記事が載っております。それだけ我々ロータリアンにとっても関係の深い出来事だったと思います。今、我々はコロナの真最中でございます。今起きてほしくないのは30年以内に起きる南海トラフ地震で、これが来たらまさに大変なことになります。この東日本大震災の時も複合災害という言葉を生んだのですが、東京電力福島第一原発所の1号機から5号機の電源が津波のために喪失しまして、1号機から3号機の原子炉がメルトダウンをして放射能漏れが起きました。東日本大震災から10年経っても復興が遅々として進まないのはこの放射能漏れも一因していると言われております。

地震というものも予知も難しいですが、止めることはできません。常日頃の皆さんの防災に対する意識を高めておくということが大事なことで改めて思うのです。今日は東日本大震災10年ということで会長挨拶とさせていただきます。今日もよろしくお祈りいたします。

パスト会長 勝谷 哲次君 「無 題」



初めにこのような機会を戴きました事に感謝申し上げます。このような状況下でロータリーの活動の基本となる例会を開催される努力をしていただいている担当の皆様へ厚く御礼を申し上げます。

本日の内容についてこれまで、リモートで卓話を頂いた方の内容はそれぞれ大変含蓄に富み、為になるものでありましたので、それに比べてどうかと思いますが、古い話で恐縮ではありますが、私の入会の時分に見聞き感じたことを申し上げてその任を果たしたいと存じます。

私が入会いたしましたのは、平成4年(1992年)5月でありました。翌年度と言ってもその年の秋に地区大会をホストすることになっており、そのための会員増強の一環として入れていただいたと理解しております。地区大会の事についてはまた後程お話ししたいと思います。入会に際しては現在も行われているようにロータリー情報委員会が新会員にロータリーについて詳しく説明する会があり、入会后私と一緒に入会されました渡辺愛一郎さんと会議所の小会議室に呼ばれ説明をしていただく運びとなりました。

そこで会長や幹事、情報委員会委員をはじめ、皆様方がおいでになり、懇切丁寧にご説明があるものと承知しておりましたが、開会で会長が「しっかり勉強していただくように」とのご挨拶のあと、「それじゃ、行きましょうか。」とおっしゃられて、開会5分でその場は終わりとなり、二次会場へ移りました。そこで、他のメンバーさんもおられ、私共新会員は座敷でよもやま話をして他の方は前においでになった方々と論議をされている状態でありました。結論としては「言葉ではなく体験で学べ」との事であったと、記憶しております。

先に述べました通り、その年は瀬戸ロータリークラブとして大事業の地区大会をホストとしてその準備に大わらわであり、私共新会員はその尖兵として各クラブへ地区大会のPRに駆りだされることになりました。

地区大会の概要は11月22日・23日・24日の3日間日程で、初日はナゴヤキャッスルで所定の会議。第二日は瀬戸市体育館で式典・昼食・講演。第三日は、品野台カントリークラブでゴルフ大会の日程で来賓194名、会員登録2878名、将学生94名の規模で大会委員長は加藤政良さんでありました。

事前に各クラブに登録をお願いし参りました。7月から9月にかけて、会長を初めとして、数名のメンバーで私は運転手として各クラブを訪問いたしました。入会数ヶ月で右左も判らず、ついて廻りでありましたが、それぞれのクラブの例会の持ち方始め大変学ぶところが多く、特に会長がPRされる内容については非常に感銘を受けた次第であります。加藤陽一ガバナーの公式訪問の際には各クラブにご一緒について行かれた方も参考になったと思っておりますが、例会のあり方や運営の方法について知り、クラブの考え方、歴史等を知ることがで

きて非常に良い経験になったのではと推察しております。

今後このように機会があれば是非とも他クラブの例会に参加していただいて、見聞を広められることをおすすめします。「体験にまさる勉強はない」と思っております。

パスト会長 井上 博君 「ロータリーのことなど」



私は2003-4年度に入会しました。澤田武憲君のお父様、澤田賢成会長の年度でした。以後色々経験させていただきましたが、主なものを言いますと2010-11年度の勝谷哲次会長の元での幹事、2015-16年度の瀬戸RC初となるガバナー、加藤陽一ガバナーを輩出した年度の大竹一義地区幹事の元で地区副幹事、翌2016-17年度の瀬戸RC会長等があります。地区副幹事の時の担当は東三河分区12RC、地区社会奉仕委員会でした。東三河のガバナー補佐は彦坂育甫(やすほ)君、分区幹事は川口敏郎君でした。東三河分区は北は新城から南は渥美まで、70km以上ある分区で、広さゆえにIM等で中々簡単に集まらない、地区関係で名古屋に出るのは一苦労だ。という方が多い分区でした。自分の事業所は土岐市柿野で、東三河へは車で40分ほどナビに余裕を見て行きましたが、土地勘も無く、どこで渋滞等が在るか判らず、ギリギリに着く事もありました。名古屋から遠いが故に地区大会等でも出席者が少ない分区だと思っておりますが、12RC共概して仲が良く、ゴルフ会などはよく開催しているようで、下半分は渥美半島で海が近く、陽気な人が多い印象で、それぞれに個性的なRCで、自分たちでロータリーの歌を作って食事の時歌っていたり、トライアスロンに協力したりするクラブもありました。当時は加藤陽一ガバナー以下、20名位地区役員として出向したと思います。瀬戸クラブは大変だったと思いますが、当時の若手会員の皆さんもガバナーに同行して、各地の例会に出席された事と思います。海辺のゴミ拾い等、それぞれ所属地域の特色を考えた活動しておられました。機会があれば、地区に出向するのも大変に勉強になります。翌年の会長の時は、青山稔君に幹事をお願いしました。未だ4年前の事ですが、当時の事を少し触れますと、RI会長はアメリカネネシー州出身のジョンF・ジャム会長で、RIテーマは「人類に奉仕するロータリー」というグローバルな活動を感じさせるものであり、ガバナーは岡崎RC所属の服部良男ガバナーで、地区方針は「真のロータリアンになろう、ロータリアンを見つけよう」でした。服部ガバナーは、My Rotary, Club Centralへの登録、そして今はかなり普及しているFacebook、Twitter等、HPだけでなく新しいツールを使ってロータリアンがより広くよりスピーディーに情報を共有しようという事を打ち出されました。又、地区のビジョンとして、「10年後20年後も地区の輝きが持続可能であること」をサブテーマに、その為には地域

の人々にもロータリーというブランドをもっと知ってもらおう。という事が言っておられました。昨今SDGsという言葉がニュースなどでも良く聞くようになってきたように感じますが、その先取りとも取れるものだったように思います。瀬戸RCの会長年度では、それまで基本的に単年度で完結してきた事の多いロータリーの事業を、中長期的な視野に立ってその方向性を考えていく必要があるという思いのもと、瀬戸RCにも中長期ビジョンという委員会を新たに作り、加藤令吉君に委員長を努めて今後の年度に拘らない方向性についていろいろ検討して頂きました。

さて、世界はインターネット等の高速通信・AI等の情報処理の進歩等により、益々狭くなってきている感があります。ロータリーにおいてもグローバルな情報共有が進んでおり、これは益々今後加速していきたく思います。一方で個々のロータリークラブはその置かれている地域での奉仕活動等を重視する事、そして個々のロータリアンの個々の職業を通じての社会奉仕という事が根幹だという思いは変わらないところであります。

そんな中、あまりグローバルではないですが、年度を跨いで、日本中の地区が賛同して行われている”ロータリー希望の風奨学金”について少し話したいと思います。地区の副幹事をしている時、東三河の12RC訪問でも必ずといって良いほど各RCで質問されたのが、”ロータリー希望の風奨学金”についてでした。

”いつまで、具体的に何に協力するのか。他にも災害はあるのでは。”というような内容が多かったと思います。幹事をしていた2011年震災当時、アメリカからの交換留学生としてメアリー・マーガレット・シャーマンさんが6月まで在学予定でしたが、震災のニュースを受け、まもなく”48時間以内に必ず帰国させるように。”とアメリカから強い要請があり、慌てて送別会を催し、一番早い便の飛行機に乗せた事も思い出します。

明日で東日本大震災から丁度10年です。震災に関連する”ロータリー希望の風奨学金”については、ロータリーの友でも時々記事が載り、直近では2020年9月号ののっています。これは東北の各地区のみならず、日本中の多くの地区が賛同して継続している、私たちの属する2760地区も賛同しており、我々瀬戸RC会員の納める年会費にも含まれている事業です。2011年開始から22年継続する2033年まで続く奨学金事業です。ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会が2011年11月から奨学生を募集開始しています。今年がその10年目という事です。支援対象は東日本大震災で両親もしくは片親をなくした遺児が大学、短大、専門学校に進む場合、毎月5万円を卒業まで支給するというものです。震災時0歳で親を亡くした遺児が大学、短大、専門学校に将来進みたいと考え、応募した場合も、入学から卒業まで毎月5万円を奨学金として支給するという遠大な事業です。震災時に生まれた遺児は今年未だ10歳ですから、そういう子供が今後大学等に進みたいと思った場合に奨学金を支給するという事です。

そんな遠大な事業ですが、当初2億円程の支援金を元に始められた事業には、国外では台湾から1億2000万程の支援金が寄せられており、毎年各賛同地区等から寄せられる2000万から8000万程の支援金は、殆どが奨学金と将来の奨学金準備にあてられており、経費は通信費、消耗品費が主で年間支出は20万以下の年が多く、事務局も国内を5箇所移りながら継続して運営されており、実務担当は無給という事が規約にうたってあります。初年度、2011年は奨学金支給者数は36名でしたが、今年度の奨学金支給者数は194名、次期継続者は147名、開始時からの奨学生総数は468名との事です。22年間で必要な資金は10億8335万と見込まれるそうです。開始後3年目辺りからはロータリー以外の個人、企業等からの支援も増えているそうです。

東日本大震災は稀に見る大災害であり、被害も甚大であった為、奨学金開始当時は、無理もないですが、暗い闇として、大きく遺児達にもものしかかっており、奨学生も「出来るだけそっとしておいて欲しい」という雰囲気であったそうですが、最近はロータリアンと交流を持ちたい、今後の進路について相談に乗ってほしいと言う、卒業して社会人になった奨学生も増えてきているそうです。

地区を跨いで協力・賛同し、22年もの長期に渡って継続して行われるロータリー事業として”ロータリー希望の風奨学金”について話させていただきました。将来もロータリーの事業は時代に合わせて柔軟に変わっていく部分もあると思いますが、ロータリアン個々は多様性に富んでいても、その共有できるの根本的な価値観は普遍的なものだと思います。

米山奨学生 イ・チェリムさん お別れのご挨拶

皆さん、こんにちは。イ・チェリムと申します。私は今週土曜日13日に中部空港から韓国に帰ることになりましたから、今日が奨学生として最後の挨拶だと思います。よろしくお願いたします。2020年と2021年はロータリーの奨学生として本当に幸せだと思いました。蕎麦打ちや色んな飲み会で本当に幸せな経験をしたと思います。本当にありがとうございます。私は韓国に帰って、自分の陶磁器を作って頑張りたいと思います。頑張るので皆さん、期待してください。お願いします。またコロナが落ち着いたら日本に遊びに来てこの瀬戸ロータリーの例会に参加したいと思いますから、皆さん、その時まで体を大事にしてください。本当にありがとうございます。



例会予定

……3月24日(休)……

休会

……3月31日(休)……

会長エレクト 鈴木 政成君
「PETS 報告」

……4月7日(休)……

パスト会長 梶野 輝雄君
「ロータリーでの思い出」パスト会長 山本 英雄君
「The first, second and third impact
～ロータリーとの出会い～」

ニコボックス報告

2021年3月10日例会

今年最初の通常例会を開催する事が出来ました。久々に皆様の元気な顔を見る事が出来、安心しました。宜しくお願い致します。会長 松村晋也、幹事 加藤一夫

パスト会長 勝谷哲次君とパスト会長 井上博君の卓話を楽しみにしています。会長 松村晋也、幹事 加藤一夫

新会員です。今後宜しくお願い致します。同名の加藤克己さんが見えますが「2021 加藤」でお願い致します。加藤克己

卓話をさせていただきます。勝谷哲次

卓話でお耳を汚します。井上博

井上博君の卓話を楽しみにしております。勝谷哲次

誕生日をお祝い頂きありがとうございます。昨年節目の還暦を迎えた時は、「これからの人生後半戦はどんな事が待っているんだろう…

…」と、期待していましたが、直ぐの新型コロナウイルス感染襲来で散々な1年となりました。また、2年連続の骨折にも見舞われ良い事

など1つもなかったのも、今年は先ずはコロナが少しでも落ち着き平穏な日々が送れるよう心から願います。小林稔

誕生日をお祝い頂きありがとうございます。目標を126歳に定めたので、63歳、ちょうど折り返しの歳になりました。青山稔

誕生日のお祝いありがとうございます。コロナ禍、何事もなく56歳になりました。加藤克己(2012)

誕生日をお祝いいただきありがとうございます。伊藤英彦

お誕生日をお祝い頂き、ありがとうございます。大竹一義

お祝い頂き有難う御座います。74才になりました。最近よく歯が壊れます。これもコロナによるストレスのせいでしょうか？来年の後期高齢までには終息して欲しいものです。松村晋也

2月20日お蔭様で満86歳の誕生日を迎えることができました。これからも会員の皆様にはお世話になりますがどうぞよろしくお願い致します。加藤光哉

誕生日をお祝い頂きありがとうございます。勝谷哲次

誕生日をお祝い頂きありがとうございます。山本英雄

今年も無事に誕生日を迎えることが出来ました。ありがとうございます。井上伸也

誕生日を祝って頂き、誠に有り難うございます。無事、55歳を迎える事が出来、今年は様々な運勢も「GoGo」と言ってくれていますので、その波に乗って頑張って参りたいと思います。加藤克弘

妻の誕生日をお祝い頂き、ありがとうございます。與儀武蔵

家内の誕生日を祝って頂き、有難うございます。加藤五津美

妻の誕生日をお祝いいただきありがとうございます。お米おいしくいただいています。小池芳樹

妻の誕生日をお祝い頂きありがとうございます。加藤太伸

妻の誕生日をお祝い頂きありがとうございます。山本英雄

家内の誕生日をお祝いいただきありがとうございます。加藤眞言

2/3の妻の誕生日をお祝い頂きありがとうございます。寺田悟

家内の誕生日をお祝い頂きありがとうございます。何も分らず宅

急便を受け取り、「米取り寄せたの？」と聞いたら、「何とぼけた言っ

とるの、ロータリーからでしょう」と叱られる始末。我が家にとっては重

宝な米です。冷凍してある鮭と共に戴きます。小林稔
家内の誕生日をお祝い頂きありがとうございます。おかげ様で元気に過ごしております。加藤令吉

妻の誕生日をお祝い頂き誠にありがとうございます。青山稔

妻の誕生日をお祝いいただきありがとうございます。井上伸也

妻の誕生日をお祝い頂きありがとうございます。巣ごもりで趣味の

フェルトの人形作りに励んでいます。刑部祐介

妻の誕生日をお祝いいただきありがとうございます。加藤捷

主人の誕生日をお祝いして頂きありがとうございます。加藤恵子

妻の誕生日をお祝いいただきありがとうございます。田中靖達

12月12日の結婚記念日を祝って頂き、有難うございます。コ

ロナ禍の為、自宅で家族と過ごしました。近藤三博

結婚記念日をお祝い頂きありがとうございます。勝谷哲次

結婚記念日をお祝い頂きありがとうございます。加藤恵子

結婚記念日をお祝い頂きありがとうございます。岡村肇

結婚記念日をお祝いいただきありがとうございます。加藤眞言

結婚記念日をお祝い頂きありがとうございます。大澤英雄

結婚記念日をお祝いいただきありがとうございます。伊藤英彦

結婚記念日をお祝いいただきありがとうございます。大原道夫

結婚記念日をお祝い頂きありがとうございます。コロナ感染拡大

防止の為ではありませんが、我が家ではずっと前から『黙食・黙

飲』は続いております。あと、充分すぎるソーシャルディスタンスも

取っております。青山稔

結婚記念日をお祝い頂きありがとうございます。丸32年経ってしま

いました……。娘の結婚が決まり3月に親族だけの挙式と御祝

いの食事会を予定しています。娘たちを見てみると、自分達もこ

んな時があったなあ……と感慨深くなります。小林稔

加藤唐三郎パスト会長の東京五輪聖火リレーランナーお目出度

うございます。当日を楽しみにしています。加藤光哉

刑部さん、先日は有難うございました。また宜しくお願い致しま

す。山口記由

早退します。近藤三博

大変申し訳ありませんが所用により早退させていただきます。卓話が

聞けず大変残念です。加藤克弘

パスト会長 勝谷哲次君・パスト会長 井上博君の卓話を楽しみにして

にしています！

青山稔、大竹一義、大原道夫、岡村肇、刑部祐介、梶野輝雄、

加藤克己(2021)、加藤定江、加藤捷、加藤唐三郎、加藤眞言、

加藤光哉、加藤太伸、加藤陽一、加藤令吉、金谷康正、小池芳

樹、小林稔、鈴木政成、高橋信郎、田中靖達、寺田悟、野田由

紀子、平松啓、牧オサム、山内敏也、山口記由、山本英雄、與儀

武蔵

加藤克己君入会おめでとうございます！

井上博、大竹一義、刑部祐介、加藤一夫、加藤克己(2012)、加

藤定江、加藤唐三郎、加藤眞言、加藤令吉、田中靖達、牧オサ

ム

3月の誕生日・結婚記念日おめでとうございます！

大原道夫、加藤太伸、田中靖達、増岡錦也